

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業		<b>担当部局庁</b>	生涯学習政策局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度～未定		<b>担当課室</b>	社会教育課		社会教育課長 坪田知広	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	政策目標1 生涯学習社会の実現 施策目標1-3 地域の教育力の向上			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	教育基本法第13条		<b>関係する計画、通知等</b>	第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定) 「土曜授業に関する検討チーム」中間まとめ(平成25年6月28日)			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<p>学校週5日制が完全実施され10年あまりが経過し、各地域で休日の様々な活動が行われているところであるが、土曜日に様々な経験を積んでいる子供たちが存在する一方で、必ずしも有意義に過ごせていない子供たちも少なからず存在するとの指摘もある。</p> <p>こうした中、文部科学省では「土曜授業に関する検討チーム」を立ち上げ、中間まとめ(平成25年6月28日)を公表したところであり、これを踏まえ、学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、土曜日の教育環境を豊かなものにしていく必要がある。</p> <p>このため、本事業において、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の豊かな社会資源を活用して、土曜日に体系的・継続的なプログラムを企画・実施する取組を支援し、教育支援体制の構築を図ることにより、子供たちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。</p>						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>文部科学省は、地方公共団体の申請に基づき、地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等を構築する事業に対し、補助対象経費の3分の1を補助する。</p> <p>都道府県については、都道府県が直接実施する事業に補助するほか、管下の市町村が実施する事業に対して間接補助を行う。</p> <p>政令指定都市・中核市については、政令指定都市・中核市が直接実施する事業に対して補助を行う。</p>						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					1,800
	執行額						
	執行率(%)						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(27年度)
	土曜日の授業や体系的・継続的なプログラムの実施に参画した地域人材の数	成果実績	校				20,100
		達成度	%				-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域の豊かな社会資源を活用して、土曜日の授業や体系的・継続的なプログラムを実施した学校数	活動実績(当初見込み)	件				※26年度の活動見込である。 ( 6,700 )
		算出根拠	平成26年度要求額(1,800,073千円)／実施日数(67,000日)				
<b>単位当たりコスト</b>	(26,866円/日)						
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	<b>主な増減理由</b>			
	諸謝金	-	1.1百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,800百万円			
	職員旅費	-	0.8百万円				
	委員等旅費	-	1.4百万円				
	庁費	-	2.9百万円				
	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	-	1,793.9百万円				
	計	-	1,800.1百万円				

事業所管部局による点検								
	項目	評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	「土曜授業に関する検討チーム」中間まとめ(平成25年6月28日)を踏まえ、すべての子供たちの土曜日における教育活動の充実を図るため、地域の豊かな社会資源を活用して、土曜日に体系的・継続的なプログラムを企画・実施する取組を支援し、国として土曜日の教育支援体制の構築を図る必要がある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○						
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	費目・使途等は目的に即し、真に必要なものとなるよう事業計画を適切に精査することを想定しており効率性の高い事業である。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○						
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	すべての子供たちの土曜日の教育活動の充実のため、全国の地方自治体を交付対象とするとともに、地域や企業の人材の参画による取組を想定しており、効果的かつ低コストで実効性の高い事業である。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-						
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-						
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名		
点検結果	<p>・「土曜授業に関する検討チーム」を立ち上げ、中間まとめ(平成25年6月28日)を公表したところであり、これを踏まえ、学校、家庭、地域が連携し、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の豊かな社会資源を活用して、土曜日に体系的・継続的なプログラムを企画・実施する取組を支援し、教育支援体制の構築を図る必要がある。</p> <p>・地域の多様な社会資源を子供たちの教育支援に活かすための効果的な体制づくりについて、調査・検討が併せて必要。</p>							
外部有識者の所見								
外部有識者による点検対象外								
行政事業レビュー推進チームの所見								
<p>本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。</p>								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
備考								
<p>○第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定)  <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/1336379.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/1336379.htm</a></p> <p>○「土曜授業に関する検討チーム」中間まとめ(平成25年6月28日)  <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm</a></p>								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-		

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
1,800百万円

・諸謝金 1.1百万円  
・職員旅費 0.8百万円  
・委員等旅費 1.4百万円  
・庁費 2.9百万円  
を含む。

各自治体が発行する事業について、申請書に基づき補助額の決定、補助金の交付を行う。

※表示単位四捨五入の関係で、積上げと合計は一致しない



【申請受付・補助】

A. 都道府県が実施する事業(47)  
1,732百万円

都道府県において、地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等を構築する事業を行うほか、管下の市町村が実施する事業に対して補助を行う。

B. 政令指定都市・中核市が実施する事業(62)  
62百万円

地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等を構築する事業を行う。



【間接補助】

C. 市区町村が実施する事業(1,680)  
1,685百万円

地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等を構築する事業を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて  
補足する)  
(単位:百万  
円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.都道府県(47団体)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	土曜日の教育支援活動等の実施	1,732			
計		1,732	計		0
B.政令指定都市・中核市(62団体)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	土曜日の教育支援活動等の実施	62			
計		62	計		0
C.市区町村(1680団体)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	土曜日の教育支援活動等の実施	1,685			
計		1,685	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0